

# 豪州人お遍路、日本縦断の旅へ

# 禁煙は愛

手には「禁煙は愛」と大書したのぼり旗。菅笠をかぶり、白装束に身を包んだオーストラリア人のお遍路さんが13日、禁煙遍路に旅立った。九州最南端の鹿児島・佐多岬から、北海道・宗谷岬まで、約3千キロを88日間、1日平均40キロのペースで踏破しつつ、たびたび問題を訴える。(重政紀元・中村通子)



「喫煙はゆつくりとした自殺、ということも少し多くの人に訴えていきたい」

午前8時45分、小雨のなか、愛媛県西条市に住む英会話教師マーク・ギブンスさん(48)は、佐多岬の先端近くでこう決意表明をして、歩き始めた。

妻の黒木玲子さん(35)がコー

ルまで自家用車で伴走する。全

長で、鹿児島市で歯科医院を開く市来英雄さん(66)が2人を見

指導助手として愛媛県にやって来た。日本での生活は「予想以

上にしてき」だったが、みんな驚いた。同僚は、職員室で平気

にできてないし、注意する人もいない。あきれてしまいました

オーストラリアでは看護師を過ぎていた。たばこによる肺の病気で、もがき苦しみながら亡くなる人にたくさん出会った。

今年9月の帰国を前に、なん

## 徒歩で九州・佐多岬スタート 北海道・宗谷岬へ88日間で3000キロ



たばこの害を訴えるため、お遍路姿で日本縦断ウォークをスタートしたマーク・ギブンスさん。13日午前8時45分、鹿児島県・佐多岬で

厚生労働省は、たばこをやめたくてもやめられない人を「ニコチン依存症」という病気だと認め、4月から医療保険適用を始めた。

1日に吸う本数が喫煙年数を掛けた数値が200を超えていて、問診テストで基準以上の点数になった人が対象。例えば、10年間、1日20本吸っていて「禁煙や本数を減らそう」と試みて、できなかったことがありましたが、など10項目の質問のうち、5項目が「はい」の人は、「ニコチン依存症」の患者だ。テスト表は洲本市(兵庫県、禁煙支援センターのホームページ) (<http://www1.sumoto.gr.jp/shiryou/kitue>) に載っている。

### 治療、今月から保険適用 関連死11万人

こんな人は、禁煙治療の経験がある医師がいるなどの基準を満たす医療施設で、禁煙治療を最大12週間受けられる。99年の厚生省(当時)調査によると、推計喫煙者363万人中、「ニコチン依存症」は1800万人いた。

世界保健機関(WHO)によると、日本の死者96万1653人(00年)のうち12%にあたる11万3千人が、たばこによる病気が原因。主な死因はがんや心筋梗塞、呼吸器障害だ。禁煙はこれらの病気を防ぎ、患者数を劇的に減らせる方法だが、日本の成人男性の喫煙率は47%と、先進国の中で一番高い。WHOは「日本はたばこ対策の劣等生」と指摘している。

とか、たばこのリスクを日本人に分かってもらいたい。そう考えた末に、徒歩での日本縦断を思い立った。

大学時代は陸上の中距離選手で、全豪大学選手権6位の記録を持っており、脚には自信がある。先月、リハーサルとして愛媛県内を歩いたとき、多くの人が声をかけてくれた。「おれにとっちは、たばこが愛だ」と話しかけてくる人もいたが、「その人がたばこを意識するきっかけになっただけでも、価値は大きいと思います」。

神戸、大阪、東京など、各通過地でミニイベントを開く。遍路の様子や日程はマークさんのホームページ (<http://www.walkabout-tobacco.org/>) から見るのがいい。